

## 令和5年度 新栄高等学校不祥事ゼロプログラムの検証等

### ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識（法令の遵守・服務規律の徹底）の向上	法令順守意識を持って、生徒・保護者の信頼に応える教育を実現する。	事件事例を題材とした啓発資料を活用し、不祥事防止研修会等を適宜実施した。職員全体の意識の向上を図ることができた。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	職員一人ひとりが人権に配慮した言動を意識し、パワハラ、セクハラ、マタハラ等の行為の未然防止に取り組み、職場のハラスメント行為を未然に防ぐ。	情報収集を心がけ、事故防止体制の構築に努めた。職員同士で情報交換しやすい職場の雰囲気づくりに努めた。職員人権研修会を実施し、人権に配慮した言動への意識を高めた。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	職員一人ひとりが人権感覚を磨き、わいせつ・セクハラ行為を未然に防止する。	不祥事防止研修会等で、これらの行為は生徒の将来に大きな影響を及ぼし、県民の信頼を失墜してしまうことを繰り返し唱え、職員全体の意識の向上を図った。
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰、不適切な指導を未然に防止する。	具体的な事例をもとに、適切な指導のあり方を、職員全体で共有した。その結果、生徒が部活動に取り組むことの大切さを職員が自覚した。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜業務マニュアルに基づき、採点・点検等における業務を複数で確実に実施し、事故防止の徹底を図る。	出願システム導入に伴い、校内マニュアルの大幅な見直しを行った。全職員、マニュアルに基づき業務の遂行を着実に実施し、事故なく業務を推進することができた。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報保護及び情報セキュリティへの理解を深め、不祥事を防止する。	試験一週間前に会議をなくし、作問・点検の環境に配慮した。また、試験後にシュレッダーを一定期間使用禁止にする等、個人情報記載文書や答案の紛失や誤廃棄等の防止を図り、事故の発生を防いだ。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規の順守を徹底し、交通事故・交通違反、酒酔い・酒気帯び運転を未然に防止する。	特に年末年始の時期に職員室に飲酒運転防止に関する啓発ポスターを掲示したり、啓発資料を配付し、交通法規の遵守への啓発を行った。交通違反や交通事故を防ぐことができた。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	働き方改革の視点を常に持ち、組織として計画的で効率的な業務の推進を図る。	職場環境の見直し、業務精選、業務移管の検討、便利な機能の導入などをとおして働き方改革を推進した。
財務事務等の適正執行	私費会計処理上の事故・不祥事を未然に防止する。	私費会計基準に則り、会計ごとに指導を重ねるとともに、監査における指摘事項をその後に活かし、適正な会計執行を推進した。

## ○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題

- ・絶対にいせつ事案を出さないという目標のもと、不祥事防止の徹底を図ることができた。
- ・臨時的任用職員、会計年度任用職員にも指導を行い、学校全体で意識の向上を図れた。
- ・定期的な不祥事防止研修会等の実施により、様々な業務において当事者意識をもって取り組んだ。

### 〔課題〕

- ・不祥事をより「自分ごと」として捉えるために、研修会の内容や進行等を工夫する。
- ・あらゆる業務において絶対に不祥事を起こさない決意で業務に臨むよう、常に意識を高く持つように努める。